

# 平成30年度 自己評価結果公表シート

学校法人 京新学園  
太秦幼稚園

## 1. 本園の教育目標

「知」・「徳」・「体」・「食」を教育方針とし、幼児教育を行っている。

「知」・・・知恵、考える力を育てる

「徳」・・・善悪の判断を自分でできる子どもに育てる

「体」・・・健康な体に育て、十分な体力をつけさせる

「食」・・・食に関心をもち、感謝する心を育てる

この精神を基にして、先生や友達と一緒に幼児期に必要な経験を積むことで、人との信頼関係やコミュニケーション能力を育て、意地悪をしない正しい心、人を許せるやさしい心、嘘をつかない強い心、謝ることのできる素直な心を持った心豊かな子どもの育成を目指している。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標の具現化を図るため、教職員どうしの意見交換の場を設け、教育の質を高めるとともに、本園の中・長期のビジョンに沿った運営を図る。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・学年リーダーを主として、学年をまとめたり日々の保育を振り返りながら保育を進めることができた。</li><li>・経験あるなしに関わらず互いの保育を見て、より良い保育を目指す機会が持てた。</li><li>・わんぱく教室では、体育教諭と担任とで計画の見直しを行いながら出来、良かった。子どもも楽しく積極的に取り組めた。</li><li>・年3回、園内研修のテーマを決め、ディスカッションや意見交換を行い、職員間の共通理解が図られた。</li></ul>
2. 子育て支援の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・未就園児保育（ことりキッズ）や園庭開放、園見学では幼稚園を知ってもらう機会となった。未就園の方の子育て相談の要望も多く入園を見据えて利用頂いていた。</li><li>・未就園児保育（ことりキッズ）やプレクラスでも朝の会やカリキュラムを取り入れることで、椅子に座る習慣ができていた。入園後も同じピアノ合図や内容を取り入れていくことで安心して取り組む姿が見られた。</li></ul>
3. 異年齢児との交流など	<ul style="list-style-type: none"><li>・延長保育の充実したカリキュラムの為、利用者が多くなったことでより密な縦割り保育が実施できている。</li></ul>
4. 危機管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・園内研修での「ヒヤリ・ハット」を見直し、遊具の使い方や保育室の環境など、全職員で安全面への共通理解を図れた。</li><li>・不審者対策として、オートロック式の通用門の開閉は徹底して行うよう職員間でも共通理解をしている。鍵の位置も、子どもの手が届かない位置へ移動させた。</li><li>・突然起こる自然災害に対して、園児が自分で考え行動できるように、また、全職員の危機管理意識を高めるためにも、避難訓練を</li></ul>

	計画的に実施できた。また、活動中に不意打ちでの避難訓練の実施で子どもたちも、落ち着いて行動できるようになってきた。
--	-----------------------------------------------------------

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

行事・カリキュラムの反省は、その都度行い、反省を活かして取り組んでいる。 どの活動にも、ねらいを定めて取り組んでいきたい。
------------------------------------------------------------------

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
1. 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理態勢など、新人や経験年数が少ない職員にも指導方法などについて説明を行い、マニュアルも学期単位で見直し作成する。</li> <li>・わんぱく教室の内容を精査し、ルールある遊びを提供していく。子ども同士でも遊びを展開していけるようにしていく。</li> </ul>
2. 異年齢児との交流など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の保育でも異年齢で関わる機会を増やし、教え合いや一緒に過ごす時間を作るようにする。</li> <li>・縦割り保育も、年少・年長、年中・年長で設定する。思いやる優しい気持ちを育てたり、頼られる嬉しさを感じられるようなカリキュラムを立てていく。</li> </ul>
3. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい職員に、園全体での危機管理マニュアルについて説明を行うとともに、全職員で共通理解しておく。</li> </ul>
4. 地域の役割を果たすための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育と小学校教育を円滑に接続するため、自分の思いを相手に伝えることが出来るように日々の保育に努めているが、幼小連携に於いても互いの教育課程を理解しながら連携に努める。</li> </ul>
5. 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オートロック門扉の施錠確認を、しっかり行ってもらえるよう保護者の方へも注意を促すと共に、課外講師の先生方へも、防犯対策へのご理解、ご協力を頂けるよう徹底していく。</li> </ul>
6. 子育て支援の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在園児の保育に支障のない程度に、未就園児保育の充実や子育て相談を行っていくようにする。</li> <li>・月3回の未就園児への園庭開放、2歳児保育と在園児への対応に、複数のフリー教諭で関わってきたが、在園児を主として日程を組むなど、フリー教諭にも無理がないよう改善していく。</li> </ul>

#### 6. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教員もクラス、学年を超えて子どもの名前を覚え、接し、日々の関りの中から教員と子どもとの信頼関係がよく育っていると思われる。その上で充実した行事カリキュラムが行われているので、子どもたちも多くの事を吸収し、「知」「徳」「体」「食」も培われてきていると感じる。</li> <li>・バスの到着時間が、運転する人によって、すごく早かったりするので可能な範囲でいいので統一してほしい。</li> <li>・自然災害に対して、大阪府北部地震の際に、自らだんごむしのポーズを取ったと、複数の保護者から耳にしました。自ら行動を移せるように指導して頂いた先生方のお陰だと思えます。また、この地震を受けて、教室の扉を開き戸から引き戸にかえてくださったのも、園児の安全をしっかり考えてくださったので大変ありがたく思います。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------